



Title	博物館の図書室
Author(s)	持田, 誠
Description	総合博物館へ行こう. 第5回.
Citation	きぼうの虹, 327, 7-7
Issue Date	2010-03-01
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/42822
Type	article
File Information	mochida_kibou327.pdf





写真2 日頃は施錠され、静かに利用者を待つ図書室。目に見えないところで確実に利用が増えている。

総合博物館に図書室があると言っても、たいていの方は知らないだろう。実は普段はカギがかかっている。自由に出入りすることは出来ないのだから、ほとんどの方は知らなくて当然だ。しかし最近、当館の図書室は急成長を上げている。それを目に見えないところでジワジワと発展してきている。

博物館と図書

旧理学部本館時代、理学部中央図書室は正面玄関をのぼった中三階に存在していた。大学院生や教職員の中には、覚えていた方もたくさん居られるに違いない。



写真3 植物学を中心に多数の本を寄贈いただいた北区在住の中尾眞弓氏からの寄贈図書群。通称「中尾文庫」。博物館資料や稀少図書も多数含まれ、多くの学生や研究者に利用されている。

総合博物館図書室は、この旧理学部中央図書室の書庫を利用して設置されている。元カウンターがあった場所は理学・生命事務部研究協力課の事務室になっているので、図書室として用いているスペースは中二階の旧書庫部分だけであり、とても狭い。また、常駐している図書職員はいないので、必要となるときにだけ開かれる閉架式の書庫というのが実態だ。

どんな本があるのか？

では総合博物館の図書室には、どんな蔵書があるのだろうか？その特徴を見てみよう。

それでも、図書はDDC(デューイ十進分類法)という北大附属図書館の分類体系に従って排架され、雑誌(逐次刊行物)も誌名のアルファベット順に丁寧になべられてる。この他、地質図や昆虫学の別刷なども同居しているため、一見すると雑然とした暗い感じのスペースだが、決して死蔵されている空間ではなく、現役で稼働している図書室だ。専任の図書職員がいないため、毎週一回、博物館ボランティアの図書グループがここで活動し、蔵書の整理に励んでいる。そうした方々の献身的な働きがあつて、図書室は日々、使いやすいよう手入れされている。

発足当初、北大を退職する先生方から蔵書を移管したり、不要となった部局から譲り受けた図書資料が、当館図書室に集まってきた。自然史関係の教科書類や図鑑が多い。市民からの寄贈もあれば、もちろん当館独自で購入している蔵書もあるが、寄贈図書が多数存在することも当館のひとつの特徴である。

**総合博物館へ
行こう**

第5回

博物館の図書室

総合博物館 研究支援推進員 **持田 誠**



写真1 正面階段の女子トイレの脇にひっそりと存在する図書室の入り口。

料が、当館図書室に集まってきた。自然史関係の教科書類や図鑑が多い。市民からの寄贈もある。もちろん当館独自で購入している蔵書もあるが、寄贈図書が多数存在することも当館のひとつの特徴である。

関する本がある。博物館学とは、文字通り博物館そのものを研究する学問だ。博物館とは何か？に始まり、展示学、教育学、資料保存学、修復学など、博物館活動に必要な多様な分野で構成されている。博物館の専門職員である「学芸員」の資格を取得するのにも必要な学問だ。当館では、そうした博物館学に関する教科書類から、

参考資料、調査統計など幅広く博物館に関する図書を購入している。ちなみに、先ほど紹介したDDCは、三桁の数字で図書の分類を示す。博物館学を示す数字は「069」である。当館の図書室は学内のどの図書室よりも「069」の本が多い。これが当館蔵書のひとつの特徴である。

もうひとつの特徴が、全国の博物館から当館へ贈られてくる交換図書だ。

贈られてくるのが、年々確実に増えてきているのだ。これは、開館十周年を迎えて当館の存在が広く知られてきたひとつの成果である。



写真4 博物館ならではの蔵書のひとつ、全国各地の博物館から送られてきた紀要類。当館にしか所蔵の無い蔵書も少なくない。

(7ページより) が利用されていることがわかる。他で所蔵が無く、当館の図書室が利用に貢献しているのである。そして、その利用率は毎年確実に増えているのだ。当館の蔵書が、人々に求められていることの現れである。

こうした特徴的な蔵書を利用してもらうことは、標本などの実物資料と同じく、博物館の大切な役割のひとつである。残念ながら現在、当館の図書室は北大の構成員しか貸し出しや閲覧をすることができない。しかし、北大人にはぜひ、当館の特徴ある蔵書を大いに活用して欲しい。